

第二二四回ペン川柳会

令和五年一月二十四日

お題 「願・願う」

■ 浜田（我々好）
ウイスキー

百円で そんなに願うの？ 神あきれ
ウサギ年 願ってみるか 株高値

■ 稲宮（井波）
いなみ

念願の 寿命伸びるが ボケも増え
本願に 委ねたのちに 酒色追う

■ 八木（明迷）
めいめい

自首してと ホシに願いの ダメ刑事
願い過ぎ 神もあきれて 厄与え

■ 塚田（拿々）
だだ

願掛けの 母の姿が 目に浮かぶ
サッカーの 悲願実らず また四年

■ 松谷（零門）
れいもん

祈願みな 叶えていけば 神破産
無宗教 でも「アレ」だけは 神頼み

■ 山縣（安兵衛）
やすべえ

願かけて 百年生きるは ひと迷惑
お願いと 頼りにされるも 粹なもの

■ 安藤（晃二）
てるつぐ

願かけや 三日坊主の 池マラソン
挽回で お願い行脚 敵怒る

■ 西川 (醉雅)
すいが

八十路入り 快食快眠 願う日々
退職し 物価安定 願う日々

世話人 塚田 實(拿々)
だだ

■ 三春 (火酒)
ウオツカ

いつだっけ 星に願いを かけた日は
長寿祈願 五十六十 鼻ったれ

■ 曾山 (酪帝)
めいてい

やばい払い 妻へ哀願 やむを得ず
この年で 願いかなって いま平和

■ 大野 (だし)

混迷の世 めくらめっぽう 願掛ける
金足りぬ 願いを込めて 宝くじ